

先端研究基盤共用促進事業
（共用プラットフォーム形成支援プログラム）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（プラットフォーム名を記入）

提出日：平成 年 月 日

国立大学法人 ○○大学 他○機関

（代表機関名を記入した上で、実施機関数を他○機関として記入）

○○ ○○

（提案代表者名を記入）

概要

代表機関名 (研究施設名)	国立大学法人 ○○大学 (○○研究センター ○○装置)
提案代表者名	○○ ○○
実施機関名 (研究施設名)	<p>全ての実施機関名 (研究施設名) を記入すること。</p> 国立大学法人 ○○大学 (○○研究センター ○○装置) 独立行政法人 ○○研究所 (○○研究センター ○○装置) ○○○○ ○○○○ (○○研究センター ○○装置)
協力機関名 (研究施設名)	<p>全ての協力機関名 (研究施設名) を記入すること。</p> 国立大学法人 ○○大学 (○○研究センター ○○装置) 独立行政法人 ○○研究所 (○○研究センター ○○装置) ○○○○ ○○○○ (○○研究センター ○○装置)
プラットフォーム名	20 字以内とし、サブタイトルは付けないこと。
プラットフォーム構想の概要	<p>共用プラットフォームの特性や目的、委託事業で実施する具体的取組内容等、事業のポイントを簡潔に記入すること (図表を用いても可)。</p>

※ 本ページは採択時に公表を予定している。1 ページ以内に収めること

所要見込額	H28 年度	〇〇千円			
	H29 年度	〇〇千円			
	H30 年度	〇〇千円			
	H31 年度	〇〇千円			
	H32 年度	〇〇千円			
※所要見込額は、代表機関及び実施機関の必要金額の合計額を記入すること。					
代表機関のデータ					
機関の長	ふりがな 氏名		役職		
	ふりがな 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇			
提案代表者	ふりがな 氏名		生年 月日	西暦 19 年 月 日 (歳) ※2016 年 4 月 1 日現在	
	所属部署		役職		
	ふりがな 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇			
	TEL		FAX		
	E-mail				
	担当者 1				
事務連絡担当者 ※当該担当者に審査結果等の連絡を行う	ふりがな 氏名		役職		
	所属部署				
	ふりがな 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇			
	Tel		FAX		
	E-mail				
	担当者 2				
	ふりがな 氏名		役職		
	所属部署				
	ふりがな 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇			
	Tel		FAX		
E-mail					

実施機関（〇〇大学）のデータ				
機関の長	ふりがな 氏名		役職	
	ふりがな 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
実施機関にお ける提案代表 者	ふりがな 氏名		生年 月日	西暦 19 年 月 日 (歳) ※2016 年 4 月 1 日現在
	所属部署		役職	
	ふりがな 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
	TEL		FAX	
	E-mail			
事務連絡担当 者 ※当該担当者 に審査結果等 の連絡を行う	ふりがな 氏名		役職	
	所属部署			
	ふりがな 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
	Tel		FAX	
	E-mail			

※以下、実施機関数に応じて、上記の様式を複製・記入すること。協力機関分は不要。

共用プラットフォームの構想等

プラットフォームの構想	<p>共用プラットフォームの目的、全体構想等を記入すること。また、共用プラットフォームの利活用によるイノベーション創出、研究の発展、ユーザーの拡大等への方針や取組、その他プラットフォームとしての取組を記入すること。</p>
共用プラットフォームを構成する施設・設備の特徴	<p>共用プラットフォームを構成する研究施設・設備について、全国を俯瞰した上での各施設・設備の特徴（技術的特徴、主なユーザーターゲット等）を記入すること。必要に応じて、海外施設・設備とも比較を行うこと。</p>
代表機関・実施機関等の役割分担と実施体制	<p>共用プラットフォームにおける各機関の実施体制の全体像について、代表機関、各実施機関、各協力機関の役割分担について、適当な図を用いた上で具体的に記入すること。その際、委託費を充当しない取組とその役割分担も含めて記入すること。 ※共用に関する規程、利用料金体系、利用申請の仕組みが各機関において整備されている場合には関係資料を添付すること。</p>

<p>プラットフォームの自立化に向けた取組</p>	<p>現時点で予定している平成 33 年度以降の自立化に向けた取組などを記入すること。特に共用プラットフォームの取組に必要な経費に充当する財源（委託費、運営費交付金、利用料収入等）のポートフォリオを年度毎にグラフを用いてわかりやすく記入すること。</p>
<p>これまでの取組実績</p>	<p>共用プラットフォームに参加する機関における、共用施設・設備間の取組実績があれば記入すること。</p>

共用プラットフォームの対象施設・設備

機関名	対象施設・設備名	メーカー	購入年	購入金額 (百万円)	稼働時間 (時間)
国立大学法人 〇〇大学	〇〇研究センター 〇〇装置	〇〇(株)	H〇.〇.〇	〇〇〇〇	平成27年度実績 ベースで記載すること

実施期間中の所要経費の見込額

			単位	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度
	所要経費に係る計画	所要経費総額 (①+②+③)		千円				
人件費①		千円	概算で記入すること。 「事業実施費」と「消耗品費」、「保守管理費」、「光熱水費」の総額は必ずしも一致しなくても良い。					
事業実施費②		千円						
うち消耗品費		千円						
うち保守管理費		千円						
うち光熱水費		千円						
一般管理費③		千円						
必要額の根拠	所要経費の根拠について、各年度の機関別内訳を含めて、簡潔に記入すること（機関別の平成 28 年度所要経費の内訳については、別途様式 6 に詳細に記入する欄がある）。							

※原則、1 ページ以内に収めること

※様式 6 は、共用プラットフォーム、代表機関、各実施機関それぞれに作成すること
共用プラットフォームにおける所要経費

平成 28 年度の所要経費の内訳の詳細			
支出可能な 費目・種別	要求する 費目・種別	平成 28 年度 見込額	積算根拠
人件費	(例) ・事業担当職員 ・補助者 ・法定福利費	〇千円 〇千円 〇千円	(例) ・事業担当職員 コーディネーター 〇人×〇千円 ・補助者 〇人×〇日×〇千円/日
事業実施費 消耗品費、国内 旅費、外国旅費、 外国人等招へい 旅費、諸謝金、 通信運搬費、印 刷製本費、借損 料、雑役務費、 電子計算機諸 費、保険料、光 熱水料、会議開 催費	(例) ・消耗品費 ・旅費 ・諸謝金 ・印刷製本費	〇〇千円 〇〇千円 〇〇千円 〇〇千円	(例) ・消耗品費 平成 27 年度の実績（総運転時間□□時間、消耗品費 ●●千円）とプラットフォーム参画に伴う追加共用予 定時間△△時間より、●●×△△/□□=〇〇千円 ・旅費 〇〇千円/件×〇〇件=〇〇千円 ・会議開催費 〇〇千円/回×〇〇回=〇〇千円 ・印刷製本費 ポスター作成 〇〇千円 ※利用料金を基に算出している場合は、その説明を具 体的に行うこと。 ※代表機関でまとめることが可能な必要経費につい ては、代表機関において一括して計上すること。
計		〇〇千円	※代表機関及び実施機関の当該欄の合計額が所要経 費総額と一致すること。

※原則、2 ページ以内に収めること

〇〇大学における所要経費

平成 28 年度の所要経費の内訳の詳細 【〇〇大学分】			
支出可能な 費目・種別	要求する 費目・種別	平成 28 年度 見込額	積算根拠
人件費	(例) ・事業担当職員 ・補助者 ・法定福利費	〇千円 〇千円 〇千円	(例) ・事業担当職員 コーディネーター 〇人×〇千円 ・補助者 〇人×〇日×〇千円/日
事業実施費 消耗品費、国内 旅費、外国旅費、 外国人等招へい 旅費、諸謝金、 通信運搬費、印 刷製本費、借損 料、雑役務費、 電子計算機諸 費、保険料、光 熱水料、会議開 催費	(例) ・消耗品費 ・旅費 ・諸謝金 ・印刷製本費	〇〇千円 〇〇千円 〇〇千円 〇〇千円	(例) ・消耗品費 平成 27 年度の実績（総運転時間□□時間、消耗品費 ●●千円）とプラットフォーム参画に伴う追加共用予 定時間△△時間より、●●×△△/□□=〇〇千円 ・旅費 〇〇千円/件×〇〇件=〇〇千円 ・会議開催費 〇〇千円/回×〇〇回=〇〇千円 ・印刷製本費 ポスター作成 〇〇千円 ※利用料金を基に算出している場合は、その説明を具 体的に行うこと。 ※代表機関でまとめることが可能な必要経費につい ては、代表機関において一括して計上すること。
計		〇〇千円	※代表機関及び実施機関の当該欄の合計額が所要経 総額と一致すること。

※原則、2 ページ以内に収めること